

研究者情報

氏 名	長久保 和子
役 職	桜の聖母短期大学 准教授 (桜の聖母学院幼稚園 副園長 兼任)
所 属	桜の聖母短期大学 生活科学科 福祉こども専攻 こども保育コース
最 終 学 歴	福島学院大学大学院 心理学研究科 こども心理専攻 修士課程単位取得満期退学
学 位	学士(家政学)
専 門 分 野	表現(身体表現)
所 属 学 会	日本保育学会 東北児童青年精神医学会
主要担当科目	こどもと表現／保育内容(表現)の指導法／保育表現技術(身体表現)／保育内容(人間関係)の指導法／保育内容演習(総合)／保育実習指導Ⅰ・Ⅲ／特別研究Ⅰ・Ⅱ(こどもと表現)／保育教養特講Ⅴ ※子育て支援広場「親と子のひろば」担当(保育と運営)
研 究 課 題	・保育現場における「ごっこ遊び」「なりきり遊び」「劇(オペレッタやミュージカル含む)作り」等といった身体表現遊びに関する研究 ・インクルーシブ的保育から考える総合的な表現活動の在り方について ・実習指導から見える保育者の専門性についての検討 ・「親と子のひろば」運営(保育、保護者支援、学生指導等)から読み解く子育て支援やあそびに関する事例研究

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

区 分	著書・論文名等	発行所・掲載誌(書)・著書等	発行等年月
論 文 等	1 附属幼稚園基本実習生の合格率推移に関する一考察～事前指導強化との関係性について～	福島学院大学研究紀要 第44集	平成24年11月
	2 「見る」ことで「得る」もの～観察実習を主とした基本実習～	福島学院大学短期大学部教育・保育論集22号	平成25年5月
	3 保育者の子どもの保育と保護者支援に関する困惑感とやりがいにおける調査(学会発表)	平成29年度 第19回 東北児童青年精神医学会プログラム・抄録集	平成29年6月
	4 幼児期の身体表現あそびにおけるねらいとは～身体で伝える幼児の心と対話しよう～	福島学院大学短期大学部教育・保育論集22号	平成29年12月
	5 学生の身体表現が持つ特性の傾向についての検討	福島学院大学研究紀要 第54集	平成30年3月

その他 (DVD 記録・ 作品等)	～童謡からイメージする動きに着目して～ 6 私の研究 こどもたちの「スイッチボタン」～表現者としてこどもの世界を楽しむ～	福島の進路 2023. 2	令和 5 年 1 月
	7 子育て支援広場「親と子のひろば」がつなぐ親子支援事例 - 発達が緩やかなこどもの育ちを支える遊びを通して-	桜の聖母短期大学紀要 第 48 号	令和 6 年 3 月
	8 子育て支援広場における「インクルーシブな保育」の実現ー子ども・学生・保護者で作る子ども主体のあそびの環境ー	桜の聖母短期大学紀要 第 49 号	令和 7 年 3 月
	1 制作・企画・演出等	福島学院大学 入学式・学位授与式(メモリアルコンサート) 他	平成 24 年 3 月～ 令和 2 年 3 月
	2 歌唱		平成 21 年 3 月～ 令和 2 年 3 月
	3 絵画	福島県美術協会展 他	平成 12 年 11 月～平成 24 年 10 月

主な社会貢献活動

社 会 貢 献 活 動	活動年月日
福島県保育者養成校連絡会研究部会委員	令和 6 年 4 月 ～現在に至る
福島市子どもの夢を育む施設運営委員会委員	令和 6 年 4 月 ～現在に至る
放送大学福島学習センター面接授業非常勤講師	令和 6 年 12 月 (2 回実施)

特別研究

テーマ／概要	こどもと表現 ／「こどもにとっての表現とは何か」について、身体・音楽・造形分野の表現活動研究だけでなく、特徴あるこどもへの遊びにおけるアプロー
--------	--

	チ法、こどものための人形劇、即興・創作ダンス、オペレッタ、ステージ活動、創作壁面、「こども音楽療育」分野に関する絵本やおもちゃ作り、色あそび（アートセラピー）等々、学生一人ひとりの興味・関心に沿った総合的な表現活動としての実践研究を軸とする。また、子育て支援広場「親と子のひろば」や外部施設等での継続した実践研究を通して、保育技術習得や表現研究への足掛かりとする。
特別研究内容	前半は主に学生それぞれの表現活動における研究すべき問いについてディスカッションをしたり、時期に合わせこどもの施設（「仙台うみの杜水族館」「アンパンマンこどもミュージアム」「劇団四季」等）に出かけ研修を行ったりして研究計画を作成する。また、子育て支援広場「親と子のひろば」や外部施設等に保育観察・参加し、自分のテーマ（遊び方・おもちゃ・アンケート調査・かかわり方等）に沿った実践研究を行い、体験を通して保育における表現について理解を深めるとともに、こどもにとっての表現についてメンバーとともに考察・検討する。 後半は今までの考察や研究結果を基にメンバーで企画した創作表現活動を外部で運営し、保育実践（ステージ保育）の経験を積む等、保育表現活動の実践について具現化していく。同時に「親と子のひろば」等保育現場での学生それぞれが追究したい表現活動に関する実践研究を継続的に進め、最終、論文・レポート作成にまとめていく（2024 年度「福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ館」にてクリスマス会を実施。地域の親子の皆様とダンスや手作り楽器製作、手遊び・劇遊び・読み聞かせ等といった表現活動を軸とした遊びの時間を企画・運営し、こどもたちと一緒にかかわりながら楽しむ）。今後は、個々の学生の研究内容に応じて「こども音楽療育士」関連活動についても計画に取り入れていく予定である。